

「ワークライフバランス」が謳われてから数年。当院でも育児休暇や育児勤務・介護休暇などを始め、様々な取り組みが行われています。

ワークライフバランスとは、一人ひとりがやりがいや実感を持ちながら働き、家庭や地域生活などにおいても、多様な生き方が選択・実現できることを言います。

今回は、ワーク(仕事)とライフ(生活)の調和がとれ、笑顔で頑張っている看護師4人にインタビューしました。

森 千夏 (看護師歴14年) 外来勤務

私には9歳・7歳・4歳の子供がいます。

2人目を出産した時に、夫の海外出張が始まり、仕事と子育ての両立が難しくなりました。退職を考えましたが、外来業務にやりがいを感じた事、子育ては両親がサポートしてくれたことで、今日まで続けられました。子育ての悩みは1人で抱えず、両親に相談します。また、同僚に相談すると「育児あるある話」で解決することが多いです。夫が近くにいないので、1人で悩まない事、両親のサポートに素直に感謝する事を心掛けています。最近は娘が「看護師さんはどんなお仕事？」と尋ねてくるようになり、憧れているのかなと嬉しく励みになっています。



向井 竜太郎 (看護師歴4年) 手術室勤務

私には3歳・3か月の子供がいます。

子育てを行っていく中で、毎日がバタバタと忙しく、悩むこともあります。子供の成長を見ていると、また頑張ろうと思うことが多いです。子供が小さいため、体調を崩したり熱を出すことも多く、急に休みが必要になることがあります。そんな時、先輩ママさんたちが、休んでいいよと気軽に声をかけてくれ、とても助かっています。また2人目が生まれたときには出産休暇を頂き、ゆっくり家族との時間を過ごすことができました。これからも周りのスタッフに感謝しながら、仕事と子育てとの両立を頑張ります。



川向 真弓 (看護師歴14年) 病棟勤務

私には7歳・5歳・4歳の子供がいます。

3人目を出産してから、休日出勤や夜勤の時に子供たちの面倒を見てくれる親の負担が大きく、外来勤務を希望しようと悩みました。しかし、南病棟は、急な入院などがなく定時で帰れることが多いため、保育園に迎えに行くことができます。また、子供の用事がある時に、師長さんやスタッフの方に、勤務希望に協力していただいたり、子育てについてアドバイスをもらっています。そして、両親や夫の協力のおかげで、仕事を続けることができています。最近は、長女が「私も看護師さんになる」と言っており、うれしく思いました。三人の子供の笑顔を励みに、今後も頑張っていきたいと思います。



相馬 公輝 (看護師歴7年) 病棟勤務

僕には2歳・7か月(双子)の子供がいます。

双子の出産後は妻の負担を考え、男性でも取れる育児休暇を希望し3か月間いただき、大変な時期に非常に助かりました。このように、職場の協力と家族(妻や親)の支えがあるから仕事も続けられていると思っています。まだまだ育児が大変なので、仕事が終わった後でも自分が行える事は出来るだけ行い、(夫婦で)お互いフォロー出来るようにしています。休日は全力で家族孝行するようにしてますよ(笑)



インタビューを終えて：今回は子育てとの両立を頑張っているスタッフに焦点を当ててみました。上司や他スタッフの協力と家族の理解のもと頑張っていることがよく分かりました。また、子育てを終えた先輩ナースが、次の子育て世代を支えていく、というような職場の風土づくりも大切だと感じました。これからも、子供の成長を励みに、うまく息抜きをしながら、仕事と子育ての両立を頑張っていきたいと思っております。

